

# 令和2年度 学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

- (1) 都立八王子西特別支援学校 学校運営連絡協議会
- (2) 事務局の構成 主幹(教務主任兼務)＝事務局長、副校長1名 計2名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長2名、経営企画課長、主幹7名 計11名
- (4) 協議委員の構成  
学識経験者、市内高等学校長、福祉施設長、職業安定所職業指導官、市健康福祉部障害者福祉課長、近隣町会長、PTA会長、企業関係者、子ども家庭支援センター職員 計11名

## 2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和2年7月20日（月）※書面による開催  
学校経営計画について、研究活動について、八王子西特別支援学校感染症ガイドラインについて  
八王子西特別支援学校防災及び防犯の取組について、働き方改革について  
学校評価アンケートについて、回答書
  - 第2回 令和2年10月27日（火）内部委員11名 協議委員10名  
学校経営（4-4-4）について、研究活動について、本校の教育活動について、学校安全の取組について、  
第1回学校運営連絡協議会及び評価委員会報告、施設及び授業見学、意見交換
  - 第3回 令和3年2月26日（金）※書面による開催  
学校評価アンケートについて、研究活動について、学校いじめ対策委員会について
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和2年7月20日（月）※書面による開催  
昨年度の学校評価の確認、今年度のアンケートの検討、学校運営連絡協議会の年間計画、アンケート実施手順の確認
  - 第2回 令和2年10月27日（火）内部委員2名 評価委員4名  
事務局が提案したアンケート案の検討、今後の予定の確認
  - 第3回 令和3年1月27日（金）※書面による開催  
評価結果に基づく具体的な学校改善計画の検討、次年度に向けた方向性の確認

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
学校が校長の学校経営計画に基づき、組織として良好に存続していくための、自主的な検証・改善を図るために、保護者、学校近隣の地域住民等からの外部評価を積極的に受け止める。外部評価をとおして、学校の組織的な活動を中心に現状と課題について明らかにし、継続的な学校経営改善を実現するとともに、次年度の学校経営計画の策定に生かす。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模  
11月 保護者（384人）、在校生徒（165人）、教職員（154人）  
※令和2年度は新型コロナウイルス対策のため、地域住民等からの外部評価は実施せず。
- (3) 主な評価項目  
教育計画について、キャリア教育について、ロールモデルについて、働き方改革について
- (4) 評価結果の概要及び本校での課題
  - ①回収率及びアンケートについて※全校児童・生徒数は433名だが、施設生を除いた実数396名として計算

|     | 保護者 351/384 91.4% |       |         | 教職員     | 在校生徒          |         |
|-----|-------------------|-------|---------|---------|---------------|---------|
|     | 小                 | 中     | 高       |         | 139/165 84.2% |         |
| 人数  | 141/141           | 87/92 | 123/151 | 154/154 | 15/15         | 124/150 |
| 回収率 | 100%              | 94.6% | 81.5%   | 100%    | 100%          | 82.6%   |

(※中学部生徒の回答は任意)

### ②結果の概要

- 1) 保護者について
  - ◇ 保護者の肯定的評価が低かった項目については以下の通りである。
    - 【質問項目3】系統性のあるキャリア教育や学部間の接続について
  - ◇ 上記以外の質問項目については、90%以上の肯定的評価をいただいた。
- 2) 在校生について
  - ◇ ほぼすべての質問項目について、肯定的評価が80%以上であった。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

新型コロナウイルス感染症への対応となり、第1回と第3回の学校運営連絡協議会は書面での開催となった。各委員から御意見をいただくことができ、特にコロナ禍での本校の取組に対して高い評価をいただくことができた（ホームページの活用・更新や新型コロナウイルス感染症ガイドラインの策定および取組、等）。また学校評価の取組として、課題の把握、目標の設定、実践、評価、改善と一連のプロセスをさらに改善する必要があることについて御意見をいただいた。

5 学校運営連絡協議会の成果と課題及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

保護者アンケートの回収率は、全体で91.4%と比較的高い水準での回答を得ることができた。八王子特別支援学校時代からアンケート回収率100%を目指し、アンケート回収を進めてきたことや教員への意識付けが図れたことで、保護者の理解を得ることができ、高い回収率へとつなげることができた。次年度も「回収率100%」を達成目標として、教職員の意識を高め、取り組めるようにする。

【教育計画について】

◇保護者アンケート項目1・2

各学部ともおおむね肯定的な評価を受けることができた。

◆教職員アンケート項目(1)(2)

コロナ禍でのガイドライン遵守における授業の実施、専門性向上のための研修、障害特性に応じた授業の充実の項目で肯定的な評価が高い。コロナ禍においても日々の授業への取り組みに対して肯定的な評価となった。新しい取り組みは、教職員の理解が不十分であり、達成が十分でないことから否定的な値が多くなった。引き続き、教職員の研究活動や研修等を通して、専門性を高めていく。

【キャリア教育について】

◇保護者アンケート項目3

各学部とも、肯定的な評価は6〜7割となった。特に小学部では、保護者の25%が「分からない」との回答だった。系統性のあるキャリア教育、学部間の接続など、つながりのある教育の理解が十分でないことが考えられる。

◆教職員アンケート項目(3)

保護者への理解啓発の項目で特に否定的な評価となっている。これは新型コロナウイルス対応のため、予定していた保護者向けの進路講話が中止になったことも要因の一つとして考えられる。また学校として進路便りの充実や保護者向け進路講話の動画配信等の取組を実施した。理解啓発について、様々な方法で充実が図れるように今後も対応を継続していく必要がある。

【ロールモデルについて】

◇保護者アンケート項目4

各学部ともおおむね90%の肯定的な評価を受けることができた。自由記述で頂いた御意見からは、特に電話対応に関して改善すべき御指摘をいただいた。

◆教職員アンケート項目(10)

ロールモデルとしての項目は比較的肯定的な評価が高い結果となったが、課題となる項目については、全校として早急に改善できるように、対応の改善を図る必要がある。

5 協議委員のアンケート集計結果(回収:9)

「今年度の学校評価において、「学校が変わったか」について」

| そう思う | 多少そう思う | どちらとも言えない | あまりそう思わない | そう思わない | 分からない | 無回答 |
|------|--------|-----------|-----------|--------|-------|-----|
| 8    | 1      |           |           |        |       |     |

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

・なし

7 その他

・なし